

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月 4日

【評価実施概要】

事業所番号	0170400709		
法人名	有限会社 ソラ		
事業所名	グループホーム 笑顔の村		
所在地	札幌市手稲区稲穂2条6丁目3番8号 (電話) 011-688-1513		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年10月30日	評価確定日	平成21年12月7日

【情報提供票より】 (平成21年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12月 9日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	11 人	常勤 3人, 非常勤 8人, 常勤換算6.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り
	2階建ての 1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000円~40,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費15,000円 暖房費(11~3月)8,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (10月 1日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名		
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 80.8 歳	最低	69 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	手稲溪仁会病院、みき内科クリニック、カルチエド歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは民家改造型で、階段や狭さなど不自由があるにも関わらず、利用者と職員がともに暮らす家族として安心と満足を日常的に共有し、運営されています。運営推進会議を通して町内会長はじめ役員の方々の理解と協力で、地域においては、特に町内会と良好な関係が構築され、行事の参加などで楽しみと活気が溢れています。家庭的な雰囲気があり各居室は個性的で独立し、プライバシーが守られ、利用者は自分の住まいとして馴染んでいます。トイレ、浴室利用などには階段の昇降が必要になってはいますが、自立歩行の訓練に繋がっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回は取り組みを期待する項目はありませんでしたが、各項目ともさらに向上を目指して職員一同努力しています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	毎年1回、職員全員で自己評価に取り組み、課題の改善に向けて積極的に検討して、より良い理念に添ったホーム作りを目指しています。 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は定期的開催され、ホームへの理解が深まってきました。さらに町内会長の熱心な支援に地域と良好な関係が維持されて、ボランティアの協力がいただけるようになり、利用者の楽しみが増えました。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族に毎月「スマイル通信」を発行することで理解がいただけ、意見箱への投書はありません。家族の来訪時に気軽に声をかけをし、些細なことでも職員全員で共有し、介護計画や日々の暮らしに反映しています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームは町内会に加入し、良好な関係が構築されています。町内行事は利用者の楽しみになっており、盆踊り、焼肉、子供まつり、花火大会、ふれあいの集いなど、盛沢山の行事に出かけることで地域との連携が良好となっています。ボランティアの来訪でハーモニカ演奏などの取り組みも見られます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者の暮らしが豊かになり、笑顔が絶えないホームの理念を掲げて実践に取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームに理念を掲示して常時確認しながら、ミーティングなどで振り返り、共有を図り、ケアに活かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームとして町内会に加入し、行事に参加することが利用者の楽しみになっており、地元の住民としての位置づけが確立しています。近隣に車の駐車の協力をいただくなど、日常的に良好な関係が出来ています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年1回、職員全員で自己評価に取り組み、課題の改善に向けて積極的に検討して、より良い理念に添ったホーム作りを目指しています。		

札幌市手稲区 グループホーム 笑顔の村

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催されて会議内容が充実しています。町内会長の熱心な支援により地域と良好な関係が維持され、ボランティアの協力がいただけるようになり、利用者の楽しみとなっています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームは区の担当者や、保護課との関わりなど連携を取り、利用者の視点でサービスの向上を目指しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行する「スマイル通信」ではホームの様子をお知らせし、家族宛の他に町内回覧や運営推進会議でも配布しています。家族はホームページで暮らしぶりが確認出来ます。さらに、利用者一人ひとりについては健康状態を含めて金銭報告とともに連絡しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時家族が話しやすいように配慮し、声かけをして希望や意見を聞き、介護計画や日常のケアに活かしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常勤職員の交替は今までありませんが、非常勤職員の交替があったときは、利用者に影響がないように引継ぎ、細かな配慮をして利用者への影響を防ぐようにしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人主催で合同の研修会が開催され、学びの時もっています。又、内部研修は、テーマを決めて、年に10数回開催されています。運営者も管理者も職員の育成に熱心で研修は計画的に実践しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区内の管理者同士の勉強会があり、管理者が参加して交流を図っています。また、気軽に声かけが出来るように、日頃から電話等で連絡し良好な関係となっています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	普通の民家の良さを活かしたホームの特性を理解した上で、ホームでの見学や体験さらに、階段歩行が可能かなどを考慮してから、利用を開始するようにし、ホームと他の利用者や職員に馴染めるように支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護する側から、ともに過ごす立場で、利用者と一緒に楽しみを共有し、ホーム名を活かした『笑顔』を大切にしたい支援をしています。利用者に育てられる姿勢も見られます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のコミュニケーションを通じて一人ひとりの暮らし方の希望や思いの把握に努力しています。会話が困難な利用者に対しては、家族の話や職員全員で検討し意向の把握に努力しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のミーティングで職員全員が話し合い、家族の意見や利用者の希望などを考慮した介護計画を作成しています。介護計画作成担当者が中心となり、より良い介護計画を目指しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の認定期間がまちまちであっても、ホームとしては3、6、9、12月と3ヵ月毎に全員の介護計画の見直しをしています。時期を統一することで職員の効率よい打ち合わせが実施できています。利用者の状況の変化には即対応しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームとしては、一人ひとりの希望に応じた対応をしています。お墓参りや買物同行、通院介助など臨機応変に対応しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と密接に連携を取り、利用者の健康管理に向けて、適切な医療が受けれるよう支援をしています。内科と歯科の往診医師の定期的な診察で、利用者も家族も安心した暮らしを継続しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとして「重度化した場合の指針」を作成し、利用開始時に了解をいただいています。利用者、家族、医療機関など関係者と連携を図り、対応する仕組みを全員で共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの人権を尊重し、プライバシー確保の対応など職員は学び、お互いの気づきを共有し、細かな配慮をして支援しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室より居間で一緒に過ごす利用者が多く、利用者本位の過ごし方を柔軟に支援しています。居室の配置が職員の目線から離れていますが、一人ひとりの希望には対応する支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	居間に続く台所で職員の調理を見たり、味付けなどに参加したり、食事が楽しみとなるように好みの献立を多く取り入れて、職員と一緒に食事を楽しんでいます。利用者には下ごしらえや片付けなど出来る範囲で協力いただいています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆったりした浴室で、週2～3回入浴を楽しめるように利用者本位に支援しています。利用者の状況に応じてシャワー浴や足浴も実施しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの特性を活かした役割や作業分担、さらに職員からの感謝や励ましの言葉かけなど、日常の生活に生きがいができるように支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調によって判断し、利用者が戸外に出かける機会をつくっています。買物や散歩、近隣の公園などでホームに閉じこもらないような支援をしています。又、屋外行事も実施しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室は鍵がついていませんが、玄関の近くに居室がある利用者が「自分の住まいは施錠をする」習慣があるために、現時点では施錠を余儀なくしています。外出希望者には職員が同行して外出を支援しています。		

札幌市手稲区 グループホーム 笑顔の村

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームの造りは民家改造型なので複雑に居室などが配置されて、避難訓練は実施されていますが、年に1回で夜間想定は実施がなく、また、地域の協力がいただけるよう働きかけがみられません。	○	災害対策としての取り組みはさらに充実されることが望まれます。特に狭い階段や見通しがよくない居室配置、利用者の身体状況などを考慮した取り組みを今後期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立作成や食材の購入は専門業者に委託していますが、利用者の好みや行事食など臨機応変に変更し、バランスの良い食事を提供し、水分確保にも配慮をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の玄関やトイレ、居間は中古住宅改造型で段差や階段があり、広さなど十分とは言えない点もありますが、利用者と職員は自分の家として馴染みの住まいになっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者が使い慣れたものを持ち込み、日中はほとんど居間に暮らし、寝室として馴染みの居場所になっています。		

※ は、重点項目。